

さらなる安心に向けて、業界初「エアロセンサー^(※1)」で着衣着火のリスク低減
天面の「タッチスイッチ」やグリル調理容器「ラ・クック」は高い清掃性と操作性ですぐラクにも寄与
ガスビルトインコンロ「AVANCE (アバンセ)」発売

株式会社パロマ（愛知県名古屋市/代表取締役社長執行役員：中島真也）は、大阪ガス株式会社（大阪府大阪市/代表取締役社長：本荘武宏）との共同開発により、業界初となる新技術「エアロセンサー」を搭載し、着衣着火のリスクを低減させ、フラットな天面「タッチスイッチ」や、グリル調理容器「ラ・クック」による家事負担低減を目指したガスビルトインコンロ「AVANCE (アバンセ)」を2019年6月3日（月）より発売いたします。



AVANCE
アバンセ



2008年のSiセンサーコンロ法制化以降、火災件数は約半減しております^(※2)。当社では「取り替えるコトを、いいコトに」という販売方針の下、Siセンサーコンロの普及に努めてまいりました。その中で、お客さまからのお声としていただいていた、「着衣着火（コンロ使用時に袖口に引火する等の事例）」の事故を少しでも低減させるチャレンジとして、「エアロセンサー」を搭載いたしました^(※3)。これまでパロマが大切にしてきた「さらにあんしん」「すぐラク」という想いを進化させたコンロがアバンセです。



「エアロセンサー」はコンロ手前の左右中央3箇所に配置されたセンサーにより、手や袖などの進入を見守り、さらにあんしんしてお使いいただけることを目指したものです。センサーが手や袖などを感知した際には、音声案内と共にコンロの火力を自動で弱火に絞り、センサーエリアから離れると自動で元の火力に戻ります。



また、表示が明るく、操作しやすい「タッチスイッチ」を搭載し、フラットで清掃性の高い操作部としました。点火の有無や火力等をガラス天板に表示し、かがみ込まずにコンロ操作が出来ます。グリル調理機能は前面のパネルにまとめ、グリル調理容器ラ・クックを使った自動調理モード「ラ・クックオートメニュー機能」も搭載しています。アバンセにはラ・クック（サングリアレッド）を同梱しています。共働き世帯の増加による、家事時間短縮というニーズの高まりに対し、お客さまの負担軽減に繋がり、すぐラクを実現します。

※1:エアロセンサーは大阪ガス株式会社の出願商標です。※2:総務省消防庁 消防白書及び、一般社団法人日本ガス石油機器工業会自主統計より。※3:全ての着衣着火を防ぐものではありません。

シリーズ名	機種名	希望小売価格（税抜）
AVANCE (アバンセ)	PD-291WST-60GQ	328,000 円

以上

本件に関するお問い合わせ先
株式会社パロマ 広報室 : 052-824-5251 (直通)

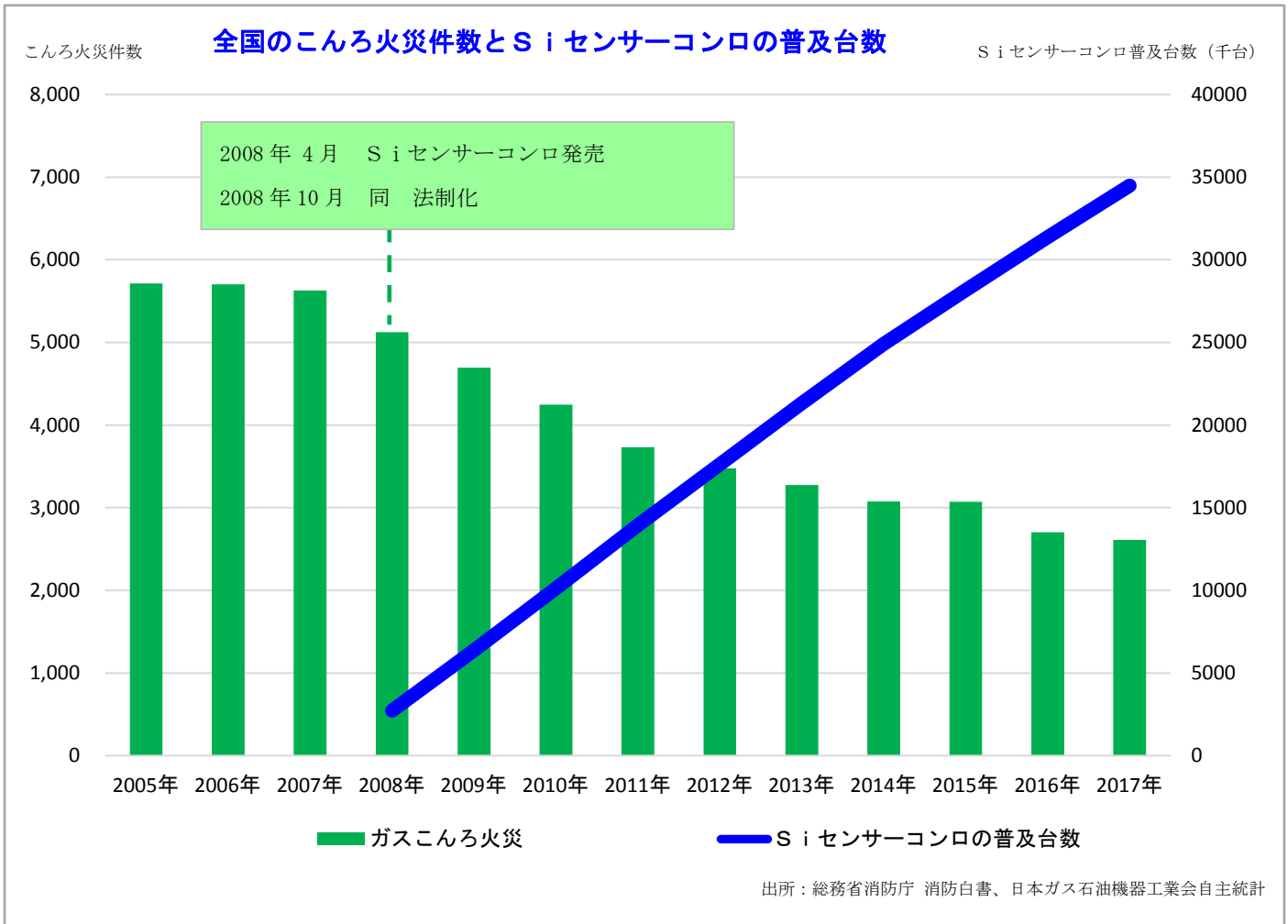
内容は発表時のものです。ご覧になった時点で、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

参考資料 総務省消防庁 消防白書及び、一般社団法人日本ガス石油機器工業会自主統計より

全国のこんろ火災件数とSiセンサーコンロの普及台数

単位：火災は件数、台数は千台

暦年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
ガスこんろ火災	5,713	5,704	5,627	5,124	4,693	4,248	3,733	3,476	3,276	3,076	3,073	2,702	2,609
Siセンサーコンロの普及台数				2,721	6,383	10,118	13,942	17,638	21,327	24,916	28,164	31,373	34,487



専業主婦世帯と共働き世帯の推移

厚生労働省「厚生労働白書」、内閣府「男女共同参画白書」、総務省「労働力調査特別調査」「労働力調査（詳細集計）」

